

英国政府の公報 Energy Trends による最新の電力情報

6/27 の政府の公報 Energy Trends* に 2019 年第一四半期(1月~3月) (以下、2019年 Q1) の電力情報が掲載されていました。概略は以下の通りです。

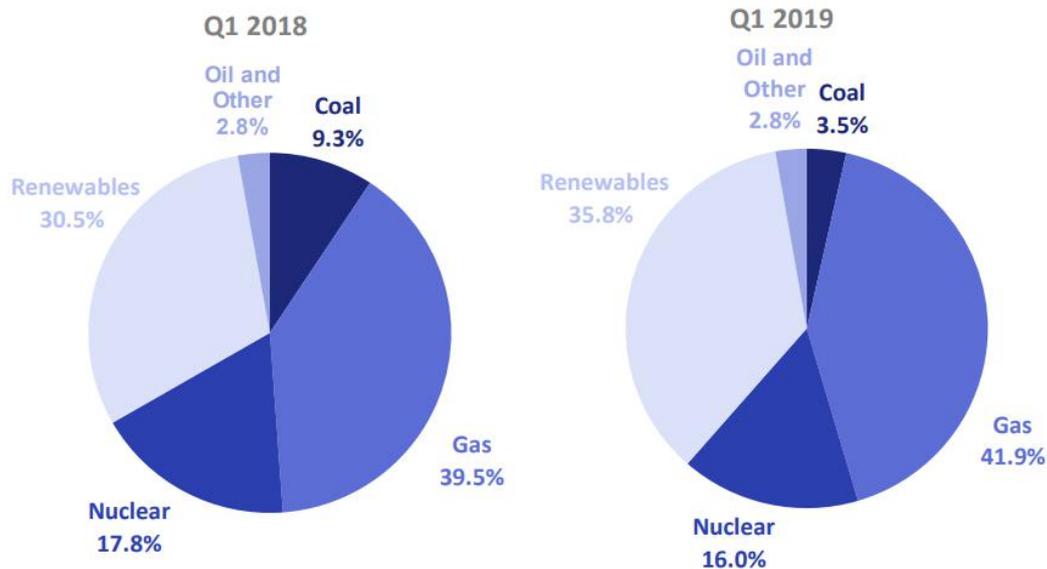
- ・ 2019年 Q1 の電力需要は、2018年 Q1 よりも 5.0%減少した。これは主に暖冬による電力需要の減少によるもので、住宅向け消費は 7.9%と大幅に減少した。

- ・ 低炭素電源 (原子力+再エネ) の割合は 2018年 Q1 には 48.3%だったのが、2019年 Q1 に 51.8%に増加し、逆に化石燃料発電のシェアは、燃料ミックスが再生可能エネルギーへと移行し続けたため、51.6%から 48.2%に減少した。特に、2019年 Q1 に再生可能エネルギーの発電量が前年同期の 30.5%から 35.8%に増加したことと、石炭が 2018年 Q1 の 9.3%が 2019年 Q1 に 3.5%に激減したのが目立った。

下図と表は、2019年 Q1 の発電燃料別と電力需要の 2018年 Q1 との比較である。

ELECTRICITY: QUARTER 1 2019

Electricity generated



2019年 Q1 燃料別発電量と前年同期比 2019年 Q1 需要別電力消費量と前年同期比

発電電源	発電量 (TWh)	前年同期比 (%)	2019年 Q1 需要別電力消費量と前年同期比		
			需要	消費電力量 (TWh)	前年同期比 (%)
石炭	3.1	-65.0	産業界	23.3	-0.7
原子力	13.9	-16.5	家庭用	29.8	-7.9
天然ガス	36.4	-1.3	その他	25.7	-5.5
再エネ	31.1	+9.2			
合計	86.9	-6.9	合計	78.8	-5.0

再生可能エネルギー

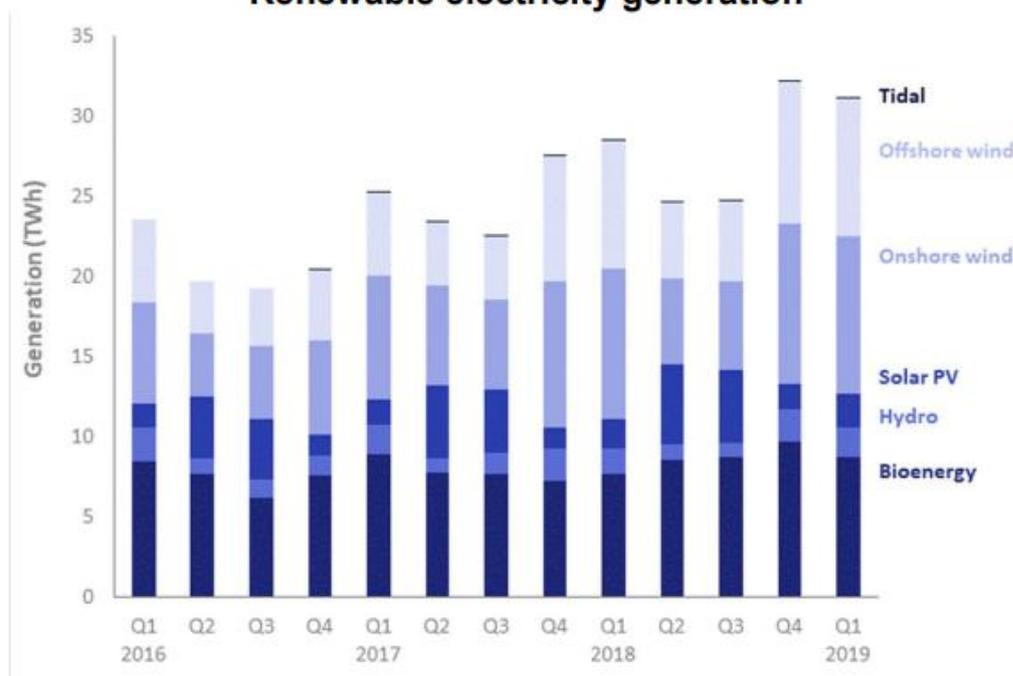
・2019年Q1の再生可能エネルギー発電量は31.1TWhで、2018年Q1の28.5TWhから9.2%増加した。太陽光発電は19%増加した。これは1日の平均日照時間が0.6時間増加したことが原因と考えられる。バイオエネルギー発電の増加は、主に2018年Q2にLynemouth Biomass発電所のプラントが開業し、2018年Q3にはDrax発電所で石炭からバイオマスに燃料が転換されたことによる貢献が加わり、13.3%の増加となった。

・2019年Q1の再生可能エネルギーの総発電量に占める割合は35.8%で、2018年Q1から5.3%増加した。これは洋上風力とバイオマスの発電量の増加が貢献している。2019年Q1の再生可能エネルギー電力設備容量は45.0GWで、前年同期比7.9%増となった。

下図と表は、2016年Q1～2019年Q1再エネ燃料別の推移と2019年Q1の前年同期比

RENEWABLES: QUARTER 1 2019

Renewable electricity generation



2019年Q1（1月～3月）の再生可能エネルギー燃料別発電量

再エネの種類	発電量 (TWh)	前年同期比 (%)
陸上風力	9.84	+4.8
洋上風力	8.56	+7.3
水力	1.81	+14.6
太陽光発電	2.12	+18.7
バイオマス	8.76	+13.3
計	31.09	+9.2

英国の2030年の発電に占める再エネ比率50%の目標達成も現実味を帯びて来ている。(了)

*Energy Trendsは、政府がエネルギーの生産と消費に関する統計を燃料別にまとめ3か月毎に発表するもので、年ごとの変化やエネルギー価格の推移もモニターされている。